

## 第三者評価結果報告書

### ①第三者評価機関名

株式会社 学研データサービス

### ②施設・事業所情報

名称：	港南つくしんぼ保育園	種別：	認可保育園
代表者氏名：	園長 佐藤 朋美	定員（利用人数）：	130（129）名
所在地：	233-0003 神奈川県横浜市港南区港南4丁目2-6		
TEL：	045-882-2940	ホームページ：	<a href="http://tsukushinbo.ed.jp/kou&lt;br/&gt;nan/">http://tsukushinbo.ed.jp/kou nan/</a>
【施設・事業所の概要】			
開設年月日	2002年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：	社会福祉法人 つくしんぼの会		
職員数	常勤職員： 33名	非常勤職員：	10名
専門職員	保育士 32名	栄養士	2名
	看護師 1名	調理員	4名
	事務員 1名		
施設・設備の概要	居室数 保育室8室、調理室 事務室2室、相談室 子育てホール、職員室 調乳室	設備等	園庭、屋上園庭、駐車場 エレベーター、シャワー室 おもちゃ倉庫

### ③理念・基本方針

理念☆子どもの最善の利益・その福祉の増進に務めます。  
 ☆子どもの人権を守り、子どもの育ちを保護者とともに見守り、  
 保護者の労働する権利の保障に務めます。

方針☆子ども的人格が尊重され、ゆったりと安心して夢中に遊び、  
 その子どもの持つ生きる力を十分発揮でき、豊かな育ちのできる保育活動を行います。

☆生活を共にする中で、子どもの心に寄り添う家庭的な温かさを大切に、  
 愛されている自覚の中で、自立へ向けて育つことの出来る保育活動を行います。

☆保育園を利用する人と子育てのパートナーシップの関係を築き、誰もが働く事が出来るよう、  
 また家族が幸せに暮らせるように応援することをめざし、必要な時に利用できる保育園づくり  
 を行います。

☆地域の子育ての拠点となるべく、関係機関と連携をとりながら、地域の人たちも含めて、  
 子どもの育ちを共に喜べる関係に努め、地域の保育ニーズも満たされる地域に開かれた  
 保育園づくりを行います。

#### ④施設・事業所の特徴的な取組

港南つくしんぼ保育園は、2002年4月1日に開園しました。運営法人は、当園を含め、3園の認可保育所を運営しています。合同で行う法人全体の研修では、法人の保育理念に基づいた保育の方向性を確認して、子ども一人ひとりの人格を尊重し、主体性を大切にされた対話的な保育を実践しています。

園内は温かみのある色合いで統一され、丸やひし形の形の大きな窓やロッククライミング、登り棒の上にある秘密基地のようなスペース、木製のベンチがある絵本コーナーなどがあり、子どもたちが興味を広げながら遊べるようになっています。広い園庭には、子どもの成長を見守るようにシンボルツリーの大きなけやきの木があり、四季折々の自然を身近に感じながら、アスレチックや砂場遊びを楽しんだり、栽培している花や野菜の水やりをしたりしています。

園の周辺には、障がい者支援施設や港南区社会福祉協議会などの福祉関連施設があり、園を含めた5施設で協働し、地域住民が交流できるイベントを実施して園児がダンスや楽器の演奏を披露するなどしています。園では、一時保育の受け入れや育児相談、園庭開放を実施しているほか、港南中央地域ケアプラザや近隣の保育所と共催する地域の親子対象の子育て広場にも参画し、地域に向けた子育て支援に取り組んでいます。

保護者とは、日々のやり取りを通して信頼関係を築きながら、子育てのパートナーとして、子どもの成長をともに見守る関係性を大切にしています。

#### ⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2023年6月1日（契約日）～ 2024年1月25日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	2回（2018年度）

#### ⑥総評

◇特長や今後期待される点

##### ◆子ども一人ひとりの育ちの姿を細やかにとらえ、丁寧な保育を行っています

職員は、日々の保育や振り返りを行う中で、子ども一人ひとりの状況を細やかにとらえて職員間で共有し、子どもの育ちの姿や今後に向けたねらいなどを「児童記録個人票」に詳細に記録しています。こうした取り組みを通して、一人ひとりの子どもへの理解をより深め、個性を大切にされた丁寧な保育の実践につなげています。自然を感じながら体を思い切り動かす戸外遊び、子どもの自由な発想を大切にされた製作活動、栽培した野菜を収穫してみんなで食べる食育活動など様々な活動を取り入れ、子どもがやりたいことを自分で選んで遊びを展開できる環境づくりを行い、子どもが自分の力を発揮しながら、豊かな経験を積み重ねていけるよう取り組んでいます。

##### ◆職員全体のチーム力を高めながら、理念の実現を目指して取り組んでいます

園では、日常的にクラス内での話し合いを行って、職員間で連携を図り、チーム力を高めながら保育にあたっています。保育士は、看護師や栄養士とも意見交換や情報共有を密に図り、食育や保健指導の活動などを協力し合っています。こうした日々の保育活動に取り組みながら、園行事や業務の係のほか、港南区などのイベントや地域に向けた子育て支援の活動にも担当職員を配置して、職員が互いに協力し合いながら、一人ひとりが責任を持ち、主体的に園運営に携われるよう体制づくりを行っています。職員は、業務を遂行する中で、互いの気づきを伝え合い、信頼関係を深めながら、理念や方針に対する共通認識を持って、取り組みを進めています。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今回第三者評価を受審し、自園の運営や保育内容について見直し、今後の課題や方向性を認識する良い機会となりました。園の自己評価作成の過程では、職員間で意見を出し合い、話し合うことで、子ども一人ひとりの人格を尊重し、主体性を大切にした対話的保育の実践を職員全員で改めて共有することができました。今回、私たちが大切にしている保育を評価していただき職員一同、今後の励みとなりました。また受審にあたりお忙しい中アンケートにご協力いただきました保護者の皆さまにも感謝申し上げます。ありがとうございました。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり